

歴史を繋ぐ まちづくり

市川地区中央部まちづくり懇談会

市川地区中央部まちづくり 懇談会とは

- 背景
- **木造住宅密集や老朽化の進行**
 - **商店街の活力低下**

総合的なまちづくりが必要になっている。いっその発展が期待できる町になるためには、行政だけではなく地区住民が主体的に参加し、行政と地域の人々が共通の目的を掲げて、連携協働していく必要がある。

概要 地区住民有志で構成されている会であり、町担当者・学識者・コンサルタント等と一緒にまちづくり提言の作製と提出を行う。

懇談会活動の歴史

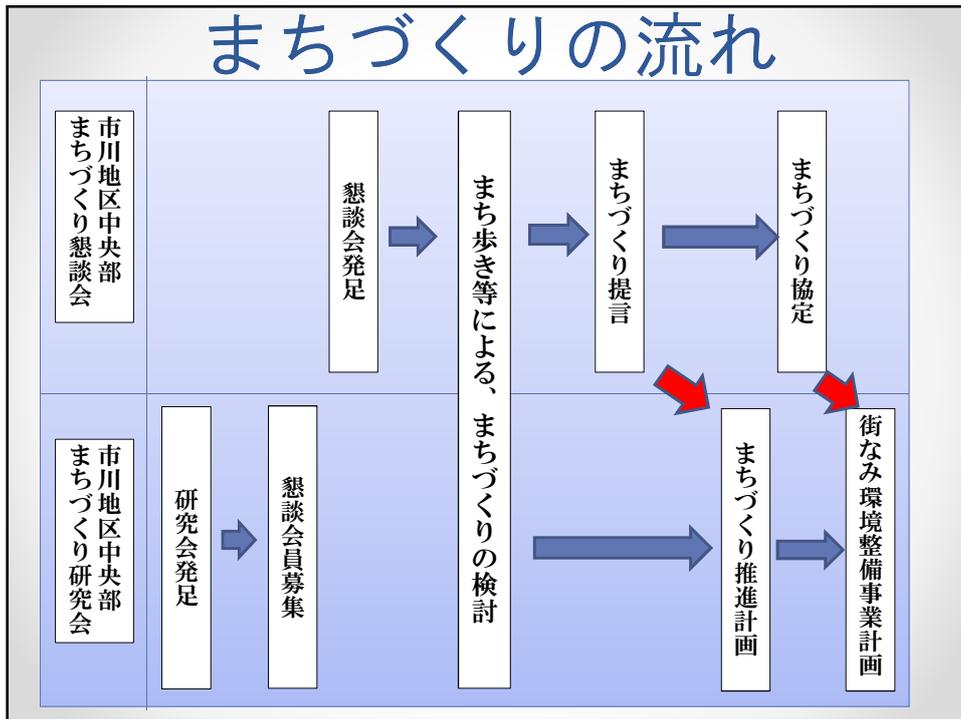
平成14年	市川地区中央部まちづくり懇談会発足
平成15年	まちづくり提言提出
平成16年	市川まちづくり拠点の開設
平成17年～ (進行中)	街なみ環境整備事業への協力 中央通りの通行実験、美装化
平成17年	市川大門散歩マップ
平成18年～	紙のまち生き生きまつり
平成18年～	摩利支天花火の日まちなかラリー
平成21年	住まいのデザインノート
平成25年	通学路スロープ壁画制作事業

まちづくり提言

まち歩き・学習会・見学会・アンケートなどの活動を、町民の自発的な提言としてまとめた文書

住み続けられるまちを目指して
～市川の歴史・文化・風景を生かしたまちづくり～

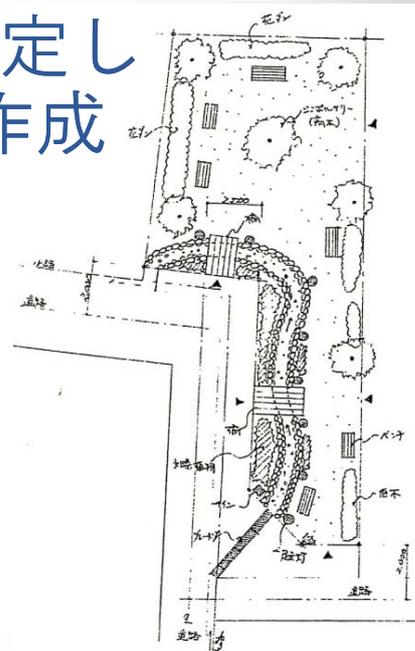
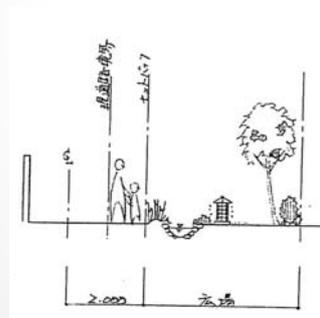
- ・住み続けられる環境をつくり、定住者を増やす
- ・商店街活性化にとりくみ、産業や文化をまちづくりに生かす
- ・市川のまちの資源をまちづくりに活用する
- ・安全、安心のまちをつくる



①まち歩きを実施して、整備の候補地を選定



②整備方針を決定しイメージ案を作成



③街なみ環境整備事業で 整備した秋葉の辻



④オープニングイベント



市川地区中央部の住まいのデザインノート

市川地区の街並みを守る必要がある

市川らしい建築物をまちの中から探すことから検討を始めた

傾斜屋根・自然素材の推奨・近隣に配慮した高さ等が書かれたガイドライン案作製

多様な建物混在し緩やかに変化していくことがこの街並みの魅力であり、住民がそのことを大事に思う気持ちが大切

地域の方々や建築士の方にガイドラインについてアンケートを実施

規制するのではなく市川らしい街なみづくりに配慮してもらい、設計者や建て主に理解してもらおうという方針で住まいのデザインノートを作製

・市川地区中央部に伝わる住まいのデザイン・カタチ

・住まいづくりと住まい方の考え

・住まいづくりで配慮してほしいポイント

・地区の特性に応じた住まいづくりについて

市川地区中央部住まいのガイドラインに向けて

市川地区中央部の住まいのデザインノート
～街並みを育んできた市川の「建物のカタチ」を考える～



平成21年3月

市川三郷町・市川地区中央部まちづくり懇談会

市川中央部懇談会ホームページ
<http://www.ichikawa-machi.miraiserver.com>

御清聴ありがとうございました